

●透析室親睦会

平成30年5月13日(日)



透析室親睦会にて徳島県にある『吉野川ハイウェイオアシス』に行ってきました。あいにくの雨でしたが、自然豊かな美しい美濃田の渚の近くにある『ふれあい館』では、雨でも楽しめるイベントを開催しており、迫力ある“阿波踊り”を間近で見ることができました。ゆっくりと買い物もでき、患者様やご家族の方の笑顔がたくさん見られ有意義な1日を過ごすことができました。

透析室スタッフ

●地域貢献活動に参加

平成30年5月21日(月)・6月8日(金)

ことなみ未来会議廃校利活用プロジェクトの一環として、5月21日(月)旧琴南中学校にて実施している『いきいき運動塾』に、6月8日(金)には買田の『健康ふれあい会』に参加させて頂きました。講義では、飲み込みの仕組みや嚥下障害、誤嚥性肺炎やトロミの必要性についての説明を行いました。実際にトロミをつけたお茶を飲んで頂いたり、食事前の『パタカラ体操』や口渇時の『唾液腺マッサージ』などを一緒に行って頂きました。また、脱水と熱中症に関するクイズを行ったり、タオルを使った体操も和気あいあいとした雰囲気の中、職員も楽しみながら一緒に行うことができました。



病棟スタッフ・言語聴覚士

平成29年 実績報告

| 〈H29年 入院患者疾患別割合〉                                 |     |
|--|-----|
| ①肺炎  | 23% |
| ②心不全、脳卒中   | 18% |
| ③骨折(大腿骨、腰椎)                                      | 14% |
| ④癌<br>(肺癌、胃癌、大腸癌等)                               | 10% |
| ⑤慢性腎不全、<br>腎盂腎炎                                  | 10% |
| ⑥消化器系疾患<br>(イレウス、胆管炎等)                           | 7%  |
| ⑦腰部脊柱管狭窄症、<br>関節疾患                               | 5%  |
| ⑧その他<br>(糖尿病、脱水症、<br>アルツハイマー型認知症、<br>パーキンソン病、貧血) | 13% |

【編集後記】

西日本豪雨により被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。過去の災害でまだまだ復興できていない地域に加え、新たな災害が起こってしまいました。当法人では24時間テレビ『愛は地球を救う』の活動に賛同し、継続した募金活動を行っています。微力ではありますが今年もまた参加させて頂き、8月25日(土)の永生病院夏祭りの日まで募金を募っておりますので、皆様の温かいご支援をお願い致します。



医療法人 圭良会

- 永生病院 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
- 森内科 香川県仲多度郡琴平町1167 Tel 0877-73-4188
- グループホームこんびら (認知症対応型共同生活介護) Tel 0877-73-0811
- サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護) 香川県仲多度郡琴平町権井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるめき」第52号  
発行元：医療法人 圭良会 永生病院  
編集者：医療サービス改善委員会  
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3  
TEL:0877-73-3300  
FAX:0877-73-3202  
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>  
eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)  
発行年月日：平成30年7月30日

永生病院 だより

# ゆるめき

季刊 2018 夏号 vol. 52

【理事長のあいさつ】  
西日本集中豪雨

【健康ひろば】  
「前立腺肥大症」

【行事報告&お知らせ】

『短時間通所リハビリテーション』  
始めました!

太鼓だヨ!全員集合

第1回“ふれあい食事会”開催

透析室親睦会

地域貢献活動に参加

平成29年 実績報告

【編集後記】

■病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません  
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします  
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■患者の権利章典

- 1. 医療を受ける権利
- 2. 自己決定権
- 3. 知る権利
- 4. プライバシーに関する権利
- 5. 学習する権利
- 6. 参加と協同



KEIRYOKAI

## 西日本集中豪雨

西日本に梅雨前線が停滞し記録的な大雨が続き、四国・中国・近畿地方中心に予想外の大きな被害がでました。各地で土砂崩れや河川の氾濫が相次ぎ、警報に避難する時間もなく、甚大な被害状況になりました。死者は200人以上にもなり、断水世帯は20万戸を超えています。河川の氾濫による水害は東日本の大津波を思わせ、被災された方々は想像を絶する思いをされたことと思います。これからまだ捜索も続き、ライフラインの復旧、交通機関・道路の復旧作業、仮設住宅の設置等々があり、各支援団体の活動がすすんでいるようですが、猛暑の中気が遠くなりそうです。ぜひ国をあげての強力な支援を速やかにすすめてほしいと思います。

香川県は台風などでも大きな災害に遭遇した経験がほとんどなく、災害に対する危機意識が充分ではありません。また、行政レベルでの災害対策の取り組みも他県に比し遅れている感があります。ここ数年の異常気象発生や、地震の発生などみていると、予想不可能ですし、いどこでおきるかも分からない状況です。医療機関は事業継続計画(BCP)を策定しておかなければなりません。個々で考えるのではなく、行政を含め、地域全体での取り組みや、医療機関間の連携も必要と思われま

す。西日本豪雨の最大の被災地となった広島での高校野球は、10日遅れで7月17日最後の開幕となりました。選手たちは「野球をしていてもいいのだろうか」という自問自答を抱きながらの開幕であったようですが、選手宣誓した

安芸南校の主将の決意文は、参加選手全員に感動を与えました。その内容は「被災地で友人と一緒に無力感を感じながら、土砂の撤去にあけたが、15日より野球の練習が開始となり、チームの連帯感以前より強くなっており、各選手が自分で考えて行動できるよう成長していた。練習を通して野球への思いが募り、野球を通して故郷の現状を伝え、自分たちの全力プレーをみてもらうことで広島に元気を与えられるよう、どんな状況も克服し、乗り越えられるよう挑戦します」というものでした。この時期選手として、どうあるべきかをしっかり考え悩みぬいた結果での宣誓であったと思います。フィギュアスケートの羽生選手に通じるものがあり、猛暑の下での高校野球ですが、ぜひ頑張してほしいと思います。

今年5月に当院介護療養型病棟の部分を「介護医療院」へ転換いたしました。人員基準は全く同じであり、入院されている患者さまには、慢性期医療として、医療・介護サービスは依然と同等のものを提供できております。従来的一般病棟と連携しつつ、今後増えてくる終末期医療の患者さまに対し、サービス内容のさらなるバージョンアップを目指して運営していく所存です。



理事長 森 伊津子

## 平成30年6月1日より『短時間通所リハビリテーション』始めました!

### 当院における短時間通所リハビリテーションとは・・・?

- 1 約1時間(10時~11時)の『介護保険』を利用した通所リハビリテーションです。
- 2 医療保険のリハビリテーション期限が終了し、外来リハビリテーションが受けられなくなった方に、当院のリハビリテーション室で、理学・作業療法士が外来と同じように個別リハビリテーションを提供いたします。
- 3 長時間の通所介護を利用する時間がない、入浴・食事・レクリエーションの必要がない方にお勧めです。



リハビリテーション科

※ご希望の方は、担当のケアマネジャーにご相談ください。

## 体の安心情報板 健康ひろば 第36回 テーマ 「前立腺肥大症」

前立腺という言葉聞いたことがある方は多いと思います。前立腺は精液の一部を作る男性のみにある臓器で膀胱の下に位置し、尿道のまわりを取り囲んでいます。栗の実のような形をしています。

前立腺の肥大は組織学的(物理的)には30歳代から始まり、50歳で30%、70歳で80%にみられます。しかし肥大したら必ず治療が必要になるわけではありません。前立腺の肥大によって排尿症状が起こった状況が前立腺肥大「症」で治療対象となりますが、その頻度は1/4程度とされています。前立腺が肥大する原因はまだはっきりとは解明されていませんが、中高年になって男性ホルモンを含む性ホルモン環境の変化が起こることにより、前立腺が肥大すると考えられています。

前立腺肥大症では、排尿症状(尿の勢いが弱い、尿が出始めるまでに時間がかかる、排尿時に力まないと出にくい)、蓄尿症状(尿の回数が多い、トイレまで我慢しにくい、尿がもれるなど)や残尿感などがみられます。もちろんこれらの症状は、膀胱炎、過活動膀胱などほかの疾患でも起こることがありますし、膀胱癌や前立腺癌などの悪性腫瘍でも排尿症状が起こることがあります。

前立腺肥大症の治療ですが、重症なものでは手術することもあります。ほとんどは経尿道的治療(内視鏡)であり、最近では前立腺を小さくする薬もあるため、手術の頻度は減っています。排尿症状は突然起こることは少なく、だんだんと進行するため症状が出て何年もたってから受診される方も珍しくありません。薬の効果は症状が軽いほど高いので、気になる症状があれば気軽に受診してください。



泌尿器科 上田 修史

## ● 太鼓だヨ!全員集合

平成30年4月30日(月)



通所介護いこいの家にて、「太鼓だヨ!全員集合」と題して讃岐かりん太鼓による演奏とワークショップを企画、開催しました。永生病院の患者様、各施設の利用者様、そのご家族、職員等合わせて98名が子供達の元気いっぱいの演奏を楽しみました。滅多に見る事のない太鼓に触れたり、来場していた昔馴染みの友人や知人との再会を喜び合うなど、たくさんの笑顔があふれるイベントとなりました。最後に全員で「こいのぼり」を合唱しました。

通所介護げんきの郷

## ● 第1回“ふれあい食事会”開催

平成30年5月13日(月)

平成17年より、介護療養型病棟にて入院中の患者様とご家族を対象に、“バイキング食事会”を行ってまいりましたが、平成30年5月より、介護医療院が新たにスタートすることを機に、3つの病棟合同の“ふれあい食事会”として開催することになりました。第1回“ふれあい食事会”には、患者様36名、ご家族22名に参加していただき、『母の日』をテーマにカーネーションを飾りつけた食堂で、涼やかな竹を使って流しそうめんを行いました。そうめんを上手にキャッチすると歓声があふれ、楽しい食事会となりました。また、女性コーラスグループ『仲南フロイデ』がきれいな歌声で花を添えてくれました。



病棟スタッフ・栄養科